

取付上の注意

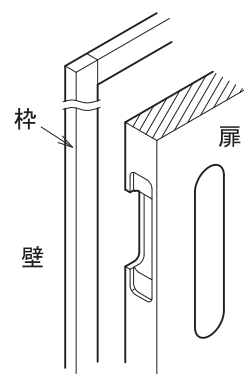


電動ドライバーは
使用しないで下さい。

※本製品は一般住宅室内専用（浴室・商業施設での使用不可）です。玄関や屋外では使用しないで下さい。
※引手取付ネジ及び化粧プレート取付ネジは、部品が変形しないように注意し、しっかり締め付けて下さい。
ネジの締め過ぎによる部品の変形や、加工寸法の違いによる、座と錠本体の芯ズレ等は、動作不良の原因になります。ご注意下さい。
※シリンダー錠は商業施設等の多頻度使用には適さない仕様です。それらの場所には別のものをご利用下さい。
※取付後はキー及びサムターンで正常に作動することをご確認下さい。

1. 扉の彫込み

裏面の取付型紙を利用して、フロントプレートの形状に合わせて、扉に彫込みを行って下さい。



注意
扉の勝手により、切欠きの
向きが異なります。
化粧プレート用の切欠きは
壁側のみ行って下さい。

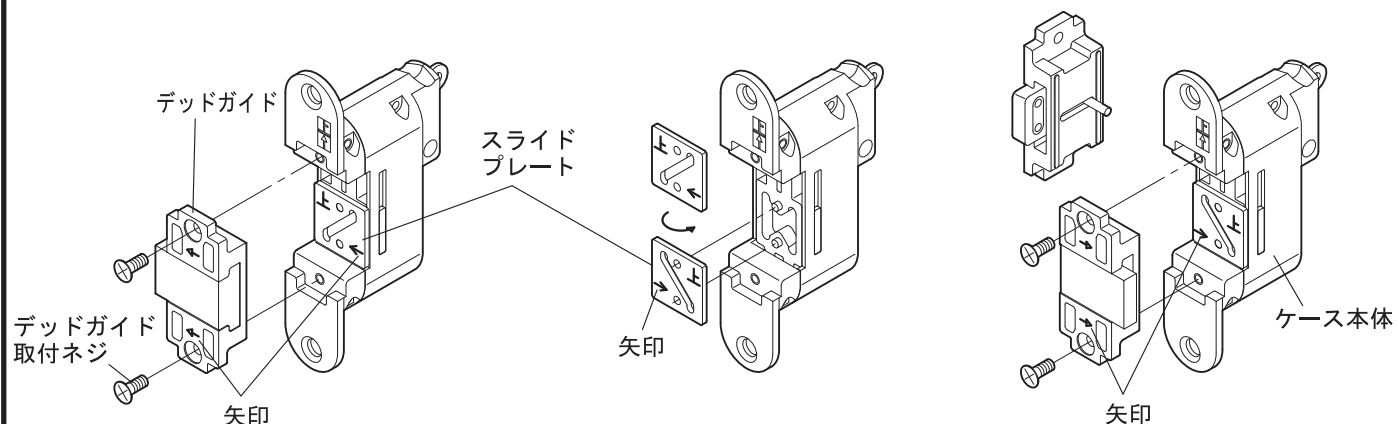
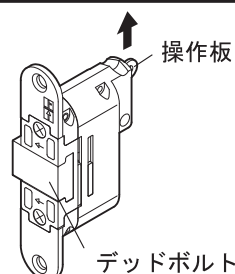


2. デッドボルトの勝手切替方法

デッドボルトの出る向きを変える事で、
勝手違いに対応する事ができます。
下記の要領で切り替えを行って下さい。



注意
勝手切替を行う場合、操作板を上げ、
デッドボルトを引っ込めた状態で、
作業を行って下さい。
又、作業は、台の上で行い、部品が
無くならないようにご注意下さい。



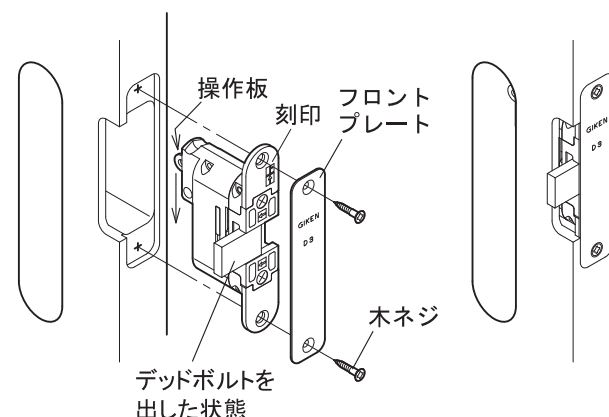
① デッドガイド取付ネジを外し、デッドガイドを外します。 → ② スライドプレートを外し、刻印が『上』のまま、反転させます。プレートの矢印の向きを、デッドボルトの出る向きに合わせて下さい。

→ ③ デッドボルトが出る向きにデッドガイドの矢印の向きを合わせ、ケース本体に取り付けます。デッドガイド取付ネジをしっかり締めして下さい。

スライドプレートとデッドガイドの矢印『→』の向きが、
デッドボルトの出る向きになります。

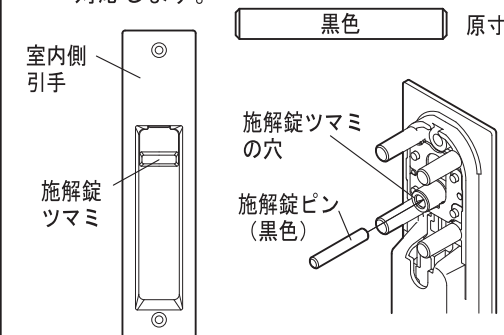
3. 錠の取付

錠本体の刻印を上にしてから、操作板を下げて
デッドボルトを出した状態で扉に入れます。
フロントプレートの刻印の向きを合わせて、錠
に当てがい、木ネジで固定して下さい。



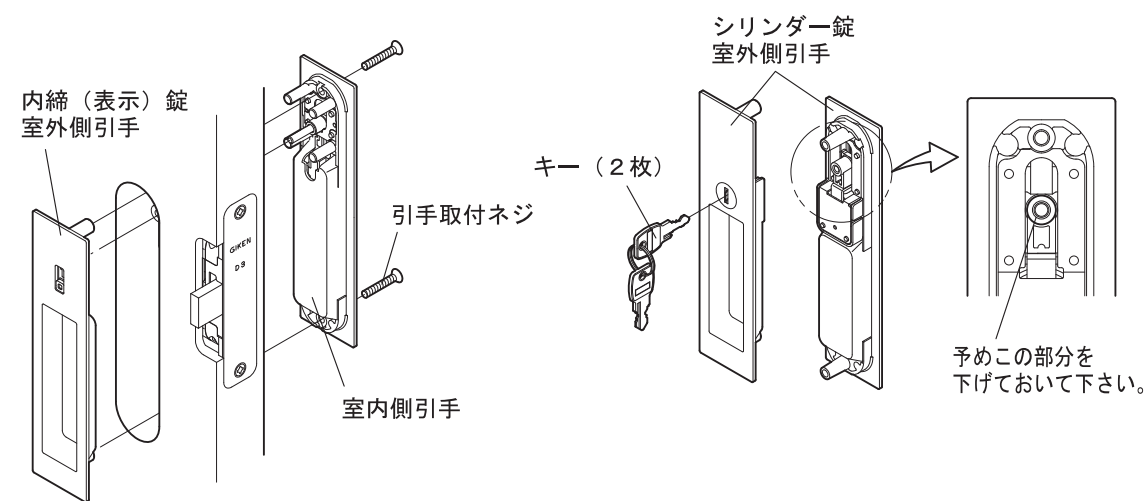
4. 施解錠ピンの取付

室内側引手の施解錠ツマミの穴に施解錠
ピンを差し込みます。
施解錠ピンは奥までしっかり差し込んで
下さい。
※施解錠ピンは同梱の長い黒色のピンを
使用して下さい。扉厚33～36mm
対応します。



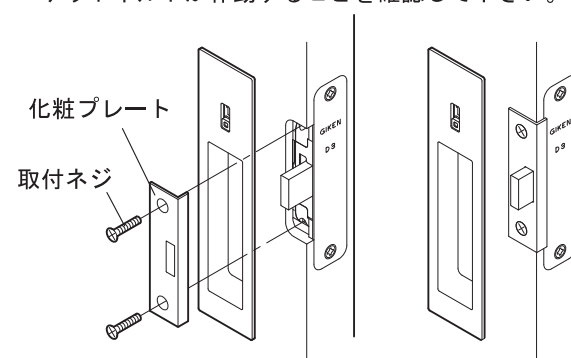
5. 引手の取付

室外側引手と室内側引手を引手取付ネジで、引手が変形しないよう注意し、しっかりと固定して下さい。
取付後、キー及び施解錠ツマミを動かし、デッドボルトが作動することを確認して下さい。



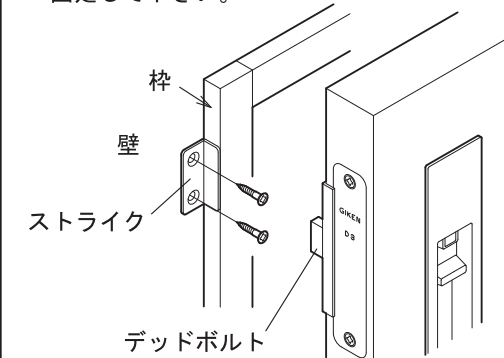
6. 化粧プレートの取付

化粧プレートを取付ネジで固定して下さい。
取付後、室内側引手の施解錠ツマミを動かし、
デッドボルトが作動することを確認して下さい。



7. ストライクの取付

ストライクはデッドボルトの高さに合わせ、
枠に当てながら壁にストライク取付木ネジで
固定して下さい。



誤施錠状態（デッドボルトを出した状態）で扉を勢い良く閉めると、錠本体を壊したり、枠を傷つける場合があります。防止の為、枠の内側でデッドボルトが当たる位置に付属のクッション材を貼って下さい。



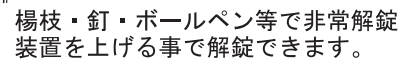
※取付面のゴミ、油、水分、ホコリ等をきれいに
取ってから、強く押して貼って下さい。

表示錠・内締錠の場合、非常時に室外側から解錠する事が出来ます。

右図のように非常解錠装置を上げる事で解錠して下さい。

シリンダー錠については、非常解錠装置はありません。

ご注意ください。



1. 表面が汚れた場合は、柔らかい布で軽く拭いて下さい。
2. 汚れが目立つときには、水を含ませた柔らかい布で拭いて下さい。
3. 特に落ちにくい汚れが表面に付着したら、柔らかい布に3%程度に薄めた中性洗剤を含ませて拭き取り、水を含ませた柔らかい布で中性洗剤を完全に拭き取ってから、乾いた布で水分を拭き取って下さい。

1. ネジが緩んだ状態で使用していると、動作不良の原因となる場合があります。
ネジの増し締めをお願いいたします。
2. 汚れ落としに、薄めた中性洗剤以外の洗剤や漂白剤・シンナー等では、絶対に拭かないで下さい。
3. キーがスムーズに抜き差しできない時には、キーのかぎ山にシリコン粉末か黒鉛（鉛筆の黒芯）を塗り、そのキーを鍵穴に挿入して数回抜き差しをして下さい。
キーの抜き差しがスムーズになりましたら、キーに付着している黒鉛等を拭き取って下さい。
市販の潤滑剤や油は、ホコリを吸着しかえって動きを悪くしますので、絶対に使用しないで下さい。

- 製品部には、洗浄液がかからないようにして下さい。
- 洗浄液がかかったら、残らない様によく拭いて下さい。
- 腐食した場合は、商品の有料ご購入となります。

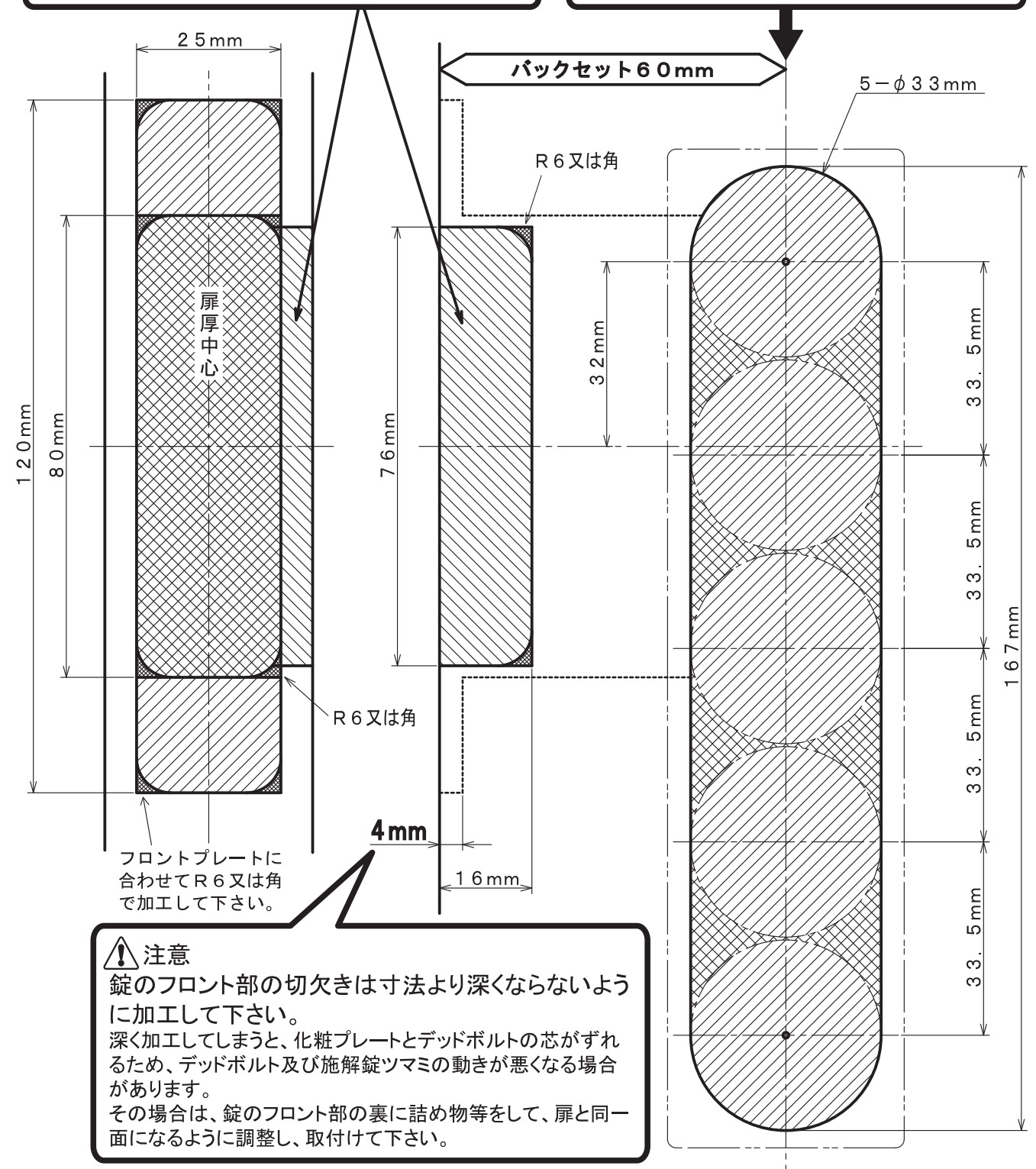
使用可能扉厚
33～36mm



扉の勝手により、切欠きが異なる箇所です。
この切欠きは壁面のみ加工して下さい。



扉表面からの穴加工を先にして下さい。
一番上と一番下の穴位置が重要です。



錠のフロント部の切欠きは寸法より深くならないよう
に加工して下さい。
深く加工してしまうと、化粧プレートとデッドボルトの芯がずれる
ため、デッドボルト及び施解錠ツマミの動きが悪くなる場合
があります。
その場合は、錠のフロント部の裏に詰め物等をして、扉と同一
面になるように調整し、取付けて下さい。

アウトセット引戸錠 取扱説明書

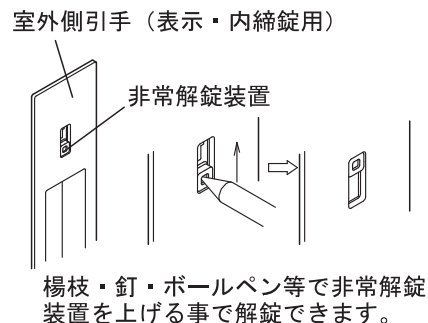
川口技研

●はじめに

本説明書を読んで正しくお使い下さい。
お読みになられた後は、いつでも見られる場所に保管して下さい。

●非常時の解錠方法について

表示錠・内締錠の場合、非常時に室外側から解錠する事が出来ます。
右図のように非常解錠装置を上げる事で解錠して下さい。
シリンダー錠については、非常解錠装置はありません。ご注意ください。



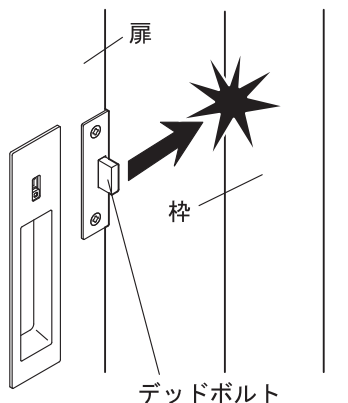
●表面のお手入れについて

表面の腐食防止の為、トイレ用洗剤が付いた手やゴム手袋、布で製品に触らないで下さい。

1. 表面が汚れた場合は、柔らかい布で軽く拭いて下さい。
2. 汚れが目立つときには、水を含ませた柔らかい布で拭いて下さい。
3. 特に落ちにくい汚れが表面に付着したら、柔らかい布に3%程度に薄めた中性洗剤を含ませて拭き取り、水を含ませた柔らかい布で中性洗剤を完全に拭き取ってから、乾いた布で水分を拭き取って下さい。
薄めた中性洗剤以外の洗剤や漂白剤・シンナー等では、絶対に拭かないで下さい。

●取扱上の注意

1. デッドボルトを出した状態で、扉を勢い良く閉めないで下さい。



2. ネジが緩んだ状態で使用していると、動作不良の原因となる場合があります。
ネジの増し締めをお願いいたします。
3. シリンダー錠でキーがスムーズに抜き差しできない時には、キーのかぎ山にシリコン粉末か黒鉛（鉛筆の黒芯）を塗り、そのキーを鍵穴に挿入して数回抜き差しをして下さい。
キーの抜き差しがスムーズになりましたら、キーに付着している黒鉛等を拭き取って下さい。
市販の潤滑剤や油は、ホコリを吸着しかえって動きを悪くしますので、絶対に使用しないで下さい。